

IV-2. 就学相談・転学相談

(1) 相談の進め方（就学相談の場合）

①申し込み受付

保護者の方から電話で申し込みをしていただき、初回の面接日・行動観察日を決めます。

②初回面接

③行動観察

お子さんの発達の様子や就学についての希望・心配等を就学相談員がお聞きし、保護者の方には就学相談票を記入していただきます。その間、就学相談員はプレイルームでお子さんと遊びながら、行動を観察します。

④発達検査

お子さんの様子を十分に理解するための参考のひとつとして、発達検査を実施します。

⑤医学診断

医師がお子さんの様子を診ながら、保護者の方のお話を伺います。

④⑤とも、療育病院等に通院している場合は、そちらの資料を参考にします。

⑥就学支援部会

就学支援部会の委員が、保護者の方から就学先のご希望やお子さんについて、直接お話を伺ったり、お子さんの様子を観察したりします。

⑦就学支援等検討委員会

就学支援等検討委員会にて、お子さんの就学先について審議し、所見としてまとめます。

⑧保護者面談及び最終決定

⑦を踏まえ、お子さんの就学先や必要な支援等について保護者に提案します。

⑨東京都立特別支援学校を希望
=東京都教育委員会(就学相談)

⑨立川市立小・中学校を希望 =立川市学務課

*就学を検討している特別支援学級・特別支援学校の見学や体験を行うことができます。

*保護者の方と相談のうえ、必要があれば、担当相談員が在園または在籍校を訪問し、普段のお子さんの様子を拝見することもできます。

就学通知書 または
学校指定通知書を
1月下旬までに
保護者に送付

(2) 数字で見る就学相談・転学相談

①就学相談

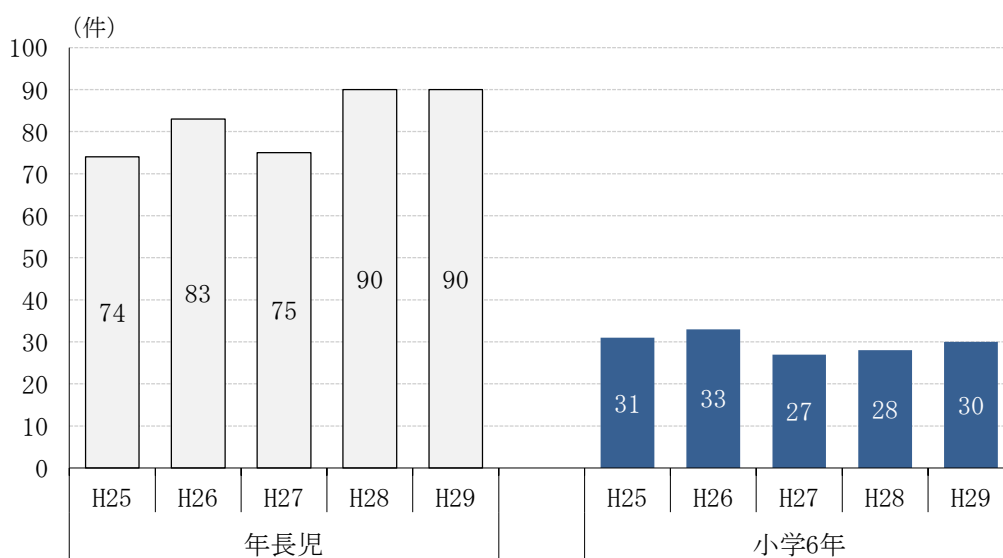
*心身に障害のある子どもの小学校・中学校への就学に関して、ライフステージを見通した適切な就学先や学校生活について、保護者と一緒に考えながら、相談を行います。

*就学支援部会を踏まえ、就学支援等検討委員会において就学先を総合的に検討し、保護者に提案します。

◆相談時間：月曜～金曜日・第2土曜／午前9時～午後5時（日曜・祝日・年末年始を除く）

➤就学相談の件数

図9: 所属別就学相談件数の推移



➤就学相談プロセス別実施回数

図10: 面談実施延回数
(複数回必須)

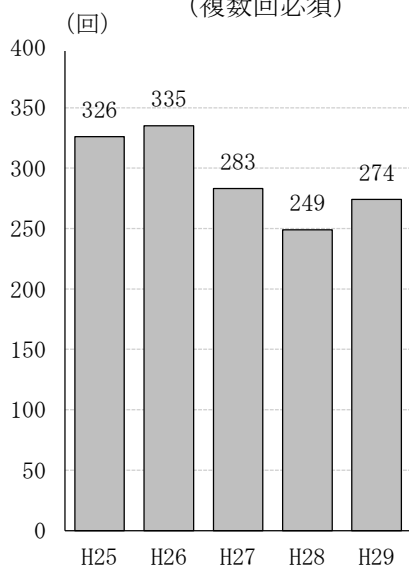
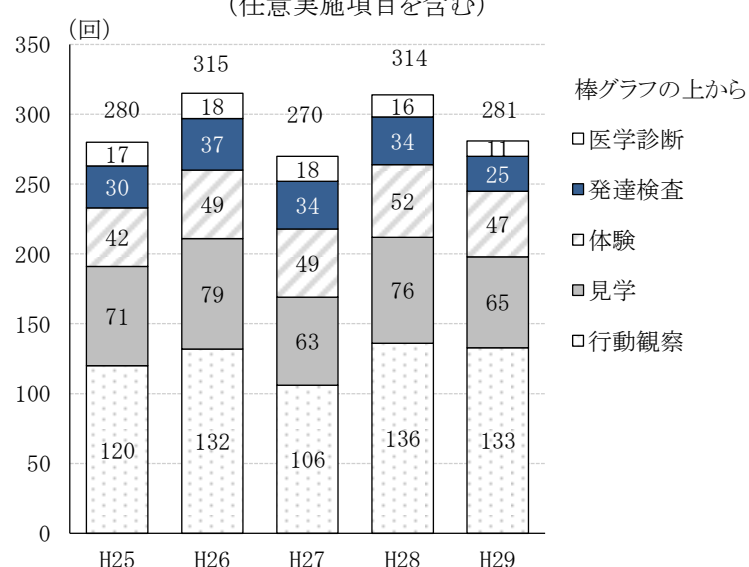


図11: 行動観察等実施延回数
(任意実施項目を含む)

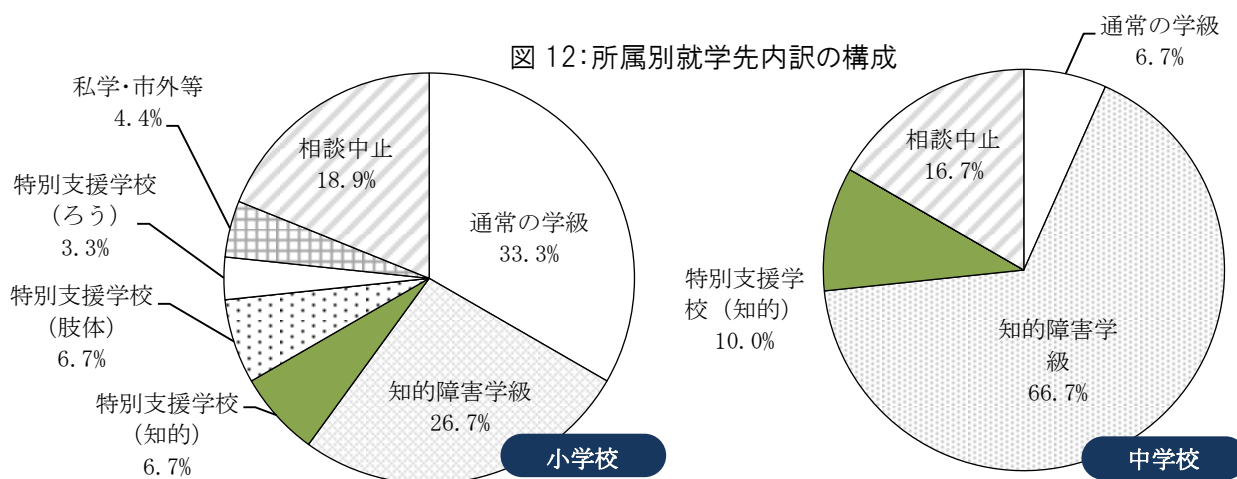


▶ 就学先の内訳

※ () 内の数字は、就学後も継続相談を要するケースで内数

	通常の学級	特別支援学級	特別支援学校			転出・私立	相談中止	合計
			知的	肢体	ろう			
小学校	30 (15)	24 (10)	6	6	3	4	17	90 (25)
中学校	2 (2)	20 (5)	3	0	0	0	5	30 (7)
計	32 (17)	44 (15)	9	6	3	4	22	120 (32)

図 12: 所属別就学先内訳の構成



② 転学相談

* 基本的な流れは、就学相談と同じ相談プロセスで進みます。

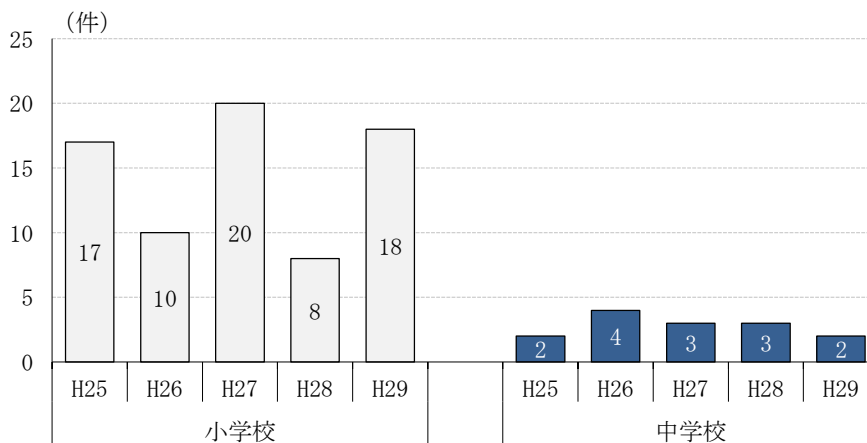
* 学校生活を通して見てきた児童・生徒の適応状況や課題、発達の特徴等を学校と保護者が共通認識を持ち、特性に合ったよりよい学習環境を一緒に考えていきます。

相談の結果、最終的に保護者が転学を希望しなかった場合でも、相談の経過は在籍校にお伝えし、本人や保護者がその後も在籍校に相談しやすい関係性を築くようにしています。

◆ 相談時間：月曜～金曜日・第2土曜 / 午前9時～午後5時（日曜・祝日・年末年始を除く）

▶ 転学相談の件数

図 13: 所属別転学相談件数の推移



▶ 転学相談プロセス別実施回数

図 14: 面談実施延回数
(複数回必須)

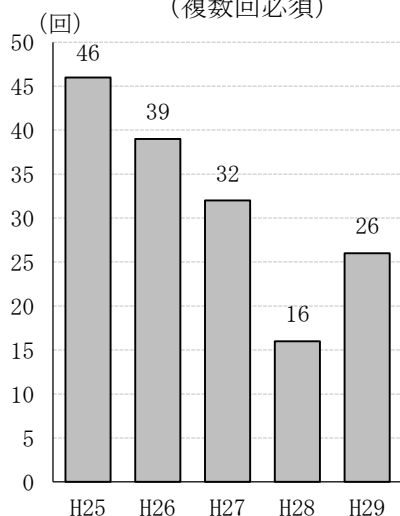
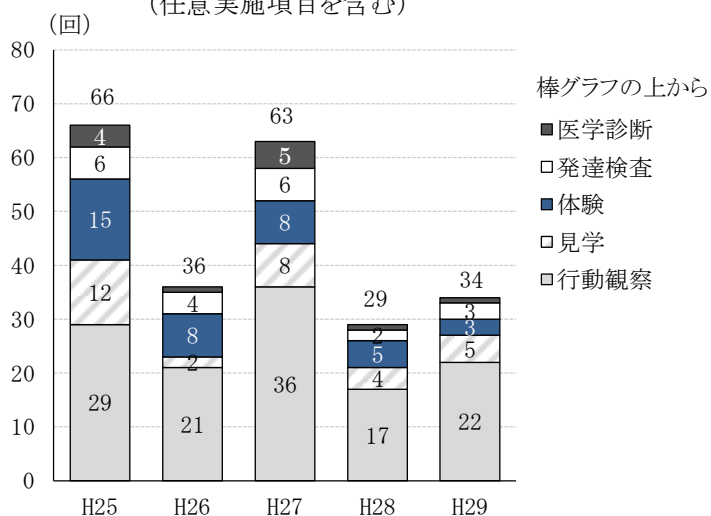


図 15: 行動観察等実施延回数
(任意実施項目を含む)



③ 就学支援等検討委員会・就学支援部会の開催状況

就学相談では、本人・保護者の意向に加え、在籍している園や学校の所見、発達検査からみえる特性、かかりつけ医による診断、教育学・医学・心理学等の専門的見地からの意見等を総合的に加味し、保護者へ就学先の提案をしています。

平成 29 年度からは、就学後も継続して面談や授業観察を行う対象者を広げ、より円滑な引継ぎと、保護者・学校との連携に努めています。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
検討委員会	6 回	7 回	8 回	8 回	8 回
支援部会 開催回数	小学校 15 回 中学校 8 回	小学校 12 回 中学校 9 回	小学校 12 回 中学校 8 回	小学校 11 回 中学校 7 回	小学校 12 回 中学校 7 回
出席委員	延 412 人	延 492 人	延 401 人	延 383 人	延 458 人

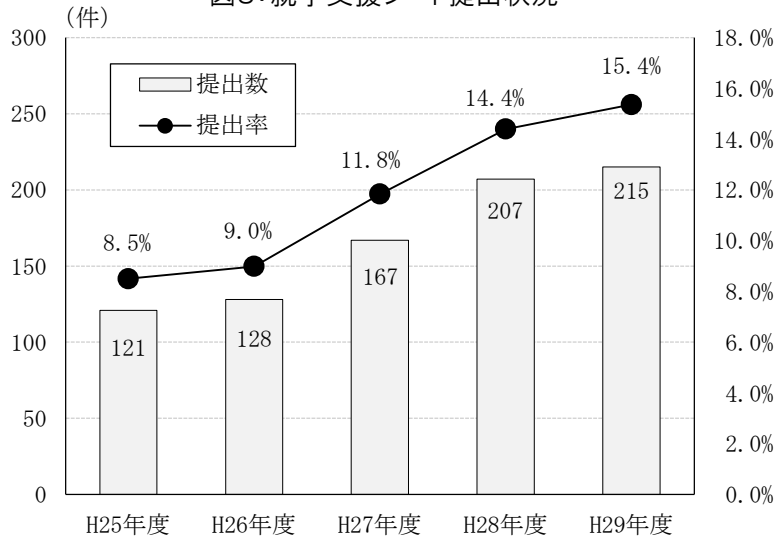
(3) 就学支援シート

小学校入学までの成長の歩みを大切にし、学校に入学してからも楽しく学習の積み重ねができるよう、就学前の様子や必要な支援の手立て、配慮などを学校へ引き継ぐためのツールが「就学支援シート」です。

保護者と幼稚園・保育園・その他専門機関の方とが協力して作成した後、教育支援課を通じて就学する学校に引き継ぎます。就学先の学校では「就学支援シート」を参考に、個別指導計画を作成したり、学級編制に活用したり、日常的な指導・支援のヒントにしたりします。

様式は、市内幼稚園・保育園等で年長児の保護者に配布したほか、市ホームページからのダウンロードや、本庁学務課窓口、隣接市幼稚園でも配布し、周知に努めました。また、就学を機に利用される方が多い学童保育所や放課後等デイサービスの初回面談等でも情報をご活用いただけるよう、保護者向けのご案内に記載を追加しました。

図8: 就学支援シート提出状況



就学支援シートの利用数は年々伸びており、平成 29 年度（平成 30 年 4 月就学児）の提出率は 15.4%にのびました。今後は、幼保・小の接続時だけに留まらず、就学前から卒業後までの支援情報を途切れなく把握し、所属や支援者が代わっても指導・支援に活かせること、また、相談に行く先々で類似した経過説明や資料提出を何度も求められる保護者の負担軽減を図るため、平成 31 年度の『サポートファイル』活用を目指し、開発に取り組んでいます。

▶平成 29 年度就学支援シート提出者の属性

所属	幼稚園	市立保育園	私立保育園	その他	合計
利用者数	11	33	160	11	215

項目	内容	保護者から	幼稚園・保育園から	その他専門機関から
興味・関心	<ul style="list-style-type: none"> ○性格の特徴 ○行動の特徴 ○好きなこと (得意) ○苦手なこと (得意) ○文字、数 など	・自分が思っていたことができなかったり、予想していたことと違う結果になると、納得するまでに時間がかかる。 ・絵を描くこと、電車のプラレールで遊ぶことが好きです。	・初めて経験することには、失敗を恐れてなかなか取り組もうとしないことがあるので、事例にどうしたらよいかを具体的に伝え、少しでもできたところをほめて、自信をつけていくようにしました。	
いじわるな経験・嫌いなこと	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの支援等で大切にしていたこと ○就学後も引き続き、配慮してほしいこと ○その他伝えておきたいこと など	・初めてのことや、苦手なことなど、本人が取り組むのに時間がかかることでは、分かりやすい説明や、写真やモデルを見せていただけると幸いです。	・1日の予定やこれから行うことについて、具体物や絵カードなどを活用して、見通しをもたせるようにしました。	

たのしい学校生活のために

記入例 平成30年度 就学支援シート

子どもには、さまざまな個性があり、一人一人に夢や希望に合わせた量的な可能性が異なります。その可能性を小学校等への入学に向けて、幼稚園・保育園・療育機関や家庭などで学んで大切に育ててきたことや影響を受けてきたことがあれば、お伝えください。お子さんの喜びで楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、お子さんについて、みんなで一緒に考えていきたいと思います。

入学式前に学校との面談を希望する方は、「有」に○を付けてください。

学校との面談希望 (有・無)

【フリガナ】 お子さんのお名前	タチカワ イチジウ 立川 一郎	生年月日	平成28年 5月 15日	性別	男
保護者の方のお名前	立川 太郎	続柄	父		
連絡先	〒190-0022 立川市 森町 3-2-26		電話番号 027-6171		
在籍している幼稚園・保育園名	〇〇保育園	その他の専門機関名			
就学予定小学校	立川南立 〇〇	小学校			

立川市教育委員会